

NPO法人 千葉を美しくする会

年2回発行(1月1日・7月1日)

発行責任者 長谷川昭次

編集担当者 石井 和美

発行所 NPO 法人千葉を美しくする会

〒273-0005 船橋市本町6-21-16 (日本企画株内)

TEL: 047-426-0026 FAX: 047-426-6071

URL: <http://www.chibao-uthukushi.sactown.jp>

それは生徒の班長の働き

長谷川昭次

1. リーダー研修会に班長が参加。

去る6月1日佐倉南高校の便教会の時、リーダー研修会に班長が参加した。この班長の参加は印旛掃除に学ぶ会が、便教会と称して以前より試みていた事である。便教会のトイレ掃除への生徒の参加を主体的にさせたい思いからであっての事であろう。リーダー研修に参加した或る班の班長は、次のような役割を果たして行った。

- ① 先ず、仲間である班のメンバーと、リーダー・サブリーダーを自分達のトイレ掃除場所へ引率して行った。2時間後の帰りの時も同じく引率して閉会式会場へ。自分の学校であるし、各自持参の栞にも自分達の掃除場所は明記してあるので引率はとてもうまい。
 - ② トイレ掃除の便器磨きに入る直前に班のメンバーの便器磨きの場所を指示し決めてあげる。(〇〇さんはこの便器を、と言うように) 生徒達は素直に従う。自分達仲間の班長の言う事だから。それだけに班長は、自覚を持たなくてはならない。その事が又仲間の班のメンバーの心に伝わって行く。
 - ③ 後半で床の水引きの時は、そのやり方を実演で示してやった。不慣れな所はリーダーが良くサポートして上げて。これは班の仲間のメンバーのやる気を大いに誘うものであった。
- これと同時に、サブリーダーとリーダーの役割に付いても触れて置こう。

2. サブリーダーにはおよそ3つの役割を果たしてもらう。

- ① 前半の中で道具の名前とその使い方の説明
- ② 中盤で技術指導や分担の無い所の掃除
- ③ 後半道具の水洗いの実演と道具の後整理。

3. リーダーは全体の掌握を大切にして役割を果たして行く。

- ① 今日の掃除の手順や方法をしっかりと実演する。
- ② 班の人達が掃除に没頭し心の変容を得て(心磨き)掃除が好きになるように導いてやる。
- ③ 全体の手順や内容を^{そら}語んじて予告しながら着実に進めて行ってやる。

4. その結果については、どのような物であったのか。

サブリーダーとリーダーの役割の果たし方は、常と変わらないものであったが班長の役割の果たし方は全く新しい物であり、これによって班の人の動きは変わったのである。

- ①生徒達の行動が落ち着き、
- ②進んで汚れを見付け綺麗にして磨きあげようとし、
- ③約2時間余りの掃除実習は何とも言えない素晴らしい雰囲気となり、今までにこのような光景に出会った事が無い位であった。

5. 学校主催で生徒主体の便教会と掃除に学ぶ会

学校主催で生徒主体のトイレ掃除をする場合、その教育効果をきちんと発揮するために、掃除に学ぶ会と学校側とが、協力し合う事が大事になります。トイレ掃除は罰当番と捉えがちな為、トイレ掃除が心磨きになるという事を、先生は事前指導しておく必要があります。一方掃除に学ぶ会の方も良き道具の整えと良きリーダーシップとで、生徒の感動を引き出せるような細やかな準備をする事が重要になります。多くの生徒達が、こうした掃除の活動を通して、将来的に自己実現や良い経営や社会貢献をし、ひいては、日本を良くして行く一人ひとりになってくれる事を一心に願うのです。



〔印旛掃除に学ぶ会 創設 10 周年・100 回記念大会〕

1月26日成田国際高校でNPO法人日本を美しくする会印旛掃除に学ぶ会（鈴木正一代表世話人）の創設10周年・100回記念大会が行われました。

この日は、NPO法人日本を美しくする会鍵山相談役をお迎えし、同校生180人一般60人が参加して行われました。

◎成田国際高校で実施される掃除実習は、今年で6年目。元同校校長の長田正友さんは『祈りの日でもある1.17の阪神大震災忌や、センター試験が行われるこの時期、命の輝きを見つめ、真剣に取り組もうと、生徒に話したことが思いだされ、感慨深いものがあります。100回の記念大会。まさに継続は力なり。素晴らしい人間教育の取り組みです』と話し、高校生達と共に汗を流していました。

◎「掃除をしている間、いろんな事を考えることができた」「便器を磨きながら、実は心を磨いていたように思う」「普段見えない所が見えて来た」などの感想が相次ぐなか野球部中島将仁さんは「綺麗になったと思って見直すと、また気になる汚れが見え、繰り返し磨きました。この気付きの力を私生活にも生かしたいと思います。特に部活で壁にぶつかったとき、この気付きの力で突破口を見出したいです」と体験で得た思いを話しました。

◎閉会式の講話で、鍵山相談役は「小さなことを大切に人が大きなことをやりとげる『やっておけばよかった』と思うのと『やっておいて良かった』という思いには、大きな違いがある。成功した人の多くは失敗を重ねた人であり、何もやらないというほど、大きな失敗はない。1日1日を大事に丁寧に生きていくことが人間の豊かさです。」と、実習を見事にやり遂げた参加者に、優しく語りかけました。

（成田エリア新聞25年2月1日発行より転載）

生徒感想文（印旛創設 10 周年・100 回記念大会）

成田国際高校 野球部 芦田 圭吾

僕は、今回でトイレ掃除をするのが二回目になります。昨年も経験していましたが、今回も抵抗があり、便器のにおいや、ぬるぬるした感じがきつく、嫌だと思っていた。また、今回は班長という立場だったのでみんなの手本となり、指導し引っ張っていかなければなりません。そのため、最初はやりたくない気持ちでいっぱいでした。しかし、やっていくうちにトイレがきれいになっていくのがわかり、みんなが自分の指示にしっかりついてきてくれて、いつのまにか夢中になっていました。また、普段気付かない所まで気付くようになり、そういう所までしっかり落としたいという気持ちに変わっていました。そして、トイレ掃除が終わるころには、もう少しやっていたいと思うまでになりました。

この掃除に学ぶ会は、幅広い年齢層でやっているの、いろいろなふれあいも出来るし、また、自分で気付きの大切さを実感することができました。この経験は、これからの生活、野球、勉強、友達、いろいろな面で生きてくると思います。そして、何より自分自身で「気付く」ことで、視野が広がり、今までとはまた違った物の考え方や物の見方が出来るようになってくるようになります。これから、僕は、この「気付き」を大切にして、野球や生活、勉強などに取り組んで行きたいと思っています。

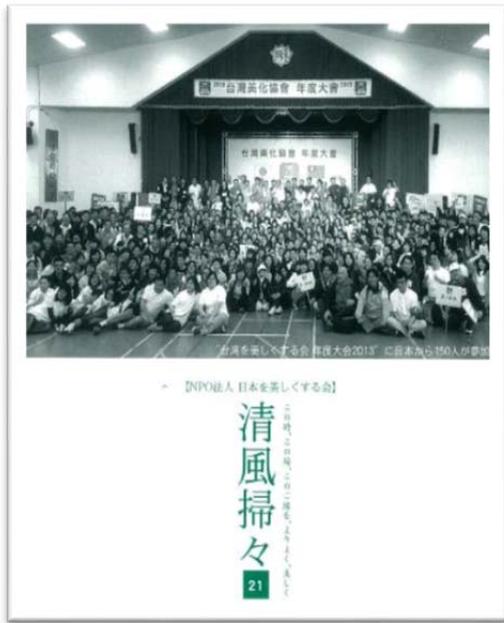
最後に、この会を開いてくださった鍵山会長さん、鈴木世話人さん、本当に有難うございました。とてもよい体験をさせていただきました。また僕は、閉会式で鍵山会長さんが言ってくださった「成功の反対は失敗ではなく、何もやらないことだ」という言葉がとても印象に残っています。僕も、いままで失敗を恐れてしまいがちだったけど、これからは失敗を恐れずに自分から積極的に行動していこうと思いました。本当に有難うございました。



平成 25 年 1 月から 6 月まで

開催日	開催場所	開催地区
1月26日(土)	成田国際高等学校	印旛掃除に学ぶ会
3月23日(土)	浦安市日の出中学校	京葉掃除に学ぶ会
3月30日(土)	船橋市海神南小学校	日本企画(株)
4月23日(火)	成田市前林小学校	印旛掃除に学ぶ会
6月1日(土)	佐倉南高等学校	印旛掃除に学ぶ会
6月18日(火)	香取市府馬小学校	印旛掃除に学ぶ会
平成 25 年 7 月からの予定 (この他にも随時入って来ます)		
8月下旬	富里北中学校	印旛掃除に学ぶ会
9月21日(土)	船橋市市場小学校	日本企画(株)
10月19日(土)	印旛中学校	印旛掃除に学ぶ会
11月30日(土)	富里中学校	印旛掃除に学ぶ会
平成 26 年の予定 (この他にも随時入って来ます)		
1月18日(土)	成田国際高等学校	印旛掃除に学ぶ会
2月中	浦安市小中学校	京葉掃除に学ぶ会
3月29日(土)	船橋市内中学校	日本企画(株)

本二冊



1. “清風掃々21号”（日本を美しくする会・各地区掃除に学ぶ会の機関誌）

鍵山相談役の「20年府仰天地に愧じず」……己れを愛する事は善からぬことの第一なり……は一読に値すると思います。また全編ご覧くだされば全国掃除に学ぶ会の事が、より身近になるものと思います。

2. “日本がもっと好きになる”

日本の歴史について、知っているようで、知らない所が1つ2つはあるものです。また、ややもすると子供達に日本がきれいになるような歴史を教えてしまう事があるものです。この冊子は頁は多くなく文は平易ですが内容が正しく凝縮されていて、子供達にも胸を張って日本が好きになるように伝えられるものと思います。手にとって下されば有難いです。

編集後記

真夏の青空が目まぶしく、海の匂いが恋しい季節となりました。今月号は期せずして印旛掃除に学ぶ会の記事で紙面は満載となってしまいました。次号からは東葛・京葉・日本企画・上総・山武の記事も掲載して行けるようにしなければならぬと思います。と同時に「個人と掃除」と言う事についても記事を広げて行きたいものだと思います。皆さんそれぞれ貴重な体験をおもちの事と思います。それらをどうぞNPO法人千葉を美しくする会編集部の方へお寄せ下さい。

魅力ある紙面にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

記：石井和美